

JAPAN PACK2013に出展します。開催：10月15日～18日、東京ビッグサイト

# 包装リースだより 31

株式会社日本包装リースは、日本包装機械工業会の会員が出資して設立した包装機械・関連機械の専門リース会社です

お問合せ先：営業企画室 電話03-6222-2261 <http://www.jpml.jp/>

## 日本再興戦略について

6月14日に閣議決定された安倍政権の第三の矢となる日本再興戦略では3つのアクションプランとして「日本産業再興」「戦略市場創造」「国際展開戦略」が打ち出されました。日本産業再興プランの中に民間投資の活性化策として、

①生産設備の新陳代謝を促進するための大胆な税制措置を含めた支援策②先端設備への投資を促進するためのリース手法を活用した新しい取組みを検討するとされています。

税制措置やリース手法の詳細は、8月中には明らかにされる見込みで、早ければ秋の臨時国会で法案が制定される予定です。

リースの活用が大いに期待されます。

## リースと購入との経済性比較について

自己資金や借入資金で購入した場合とリースを利用した場合では、どちらが有利なのか？と聞かれることが良くあります。

この場合、リースは①手元資金の効率的な運用ができる②リース料は全額経費処理が可能（中小企業の会計指針を適用する場合）③コスト管理が容易になる④事務処理の合理化に貢献⑤機械の陳腐化に対応できるなどリースの

メリットを総合的に考慮して判断して下さいと答えています。その資金面の根拠については経済性比較表で説明させていただきます。

### 【比較表の概要】

リースは、期間中にかかる費用として固定資産税、動産総合保険料等を含みますので、購入した場合も同様の費用を購入の欄に入れます。

リースの欄と購入の欄とで、まず、実際に資金が流出した金額で比較します。通常はリースの資金流出が多くなります。

次に、リースは全額経費処理できることから、購入の場合も経費処理可能金額を集計しておきます。経費処理をすることは、利益が出ている企業の場合、経費処理額に法人税率等を掛けた金額が法人税等非支払額となります。

ここで、資金の流出額に法人税等非支払額を含めて比較します。

リースは購入に比べ短期償却（法定耐用年数の6掛けか7掛け）が

可能になりますので、この場合、必ずリースが有利になります。

どちらかをご検討される場合は、ぜひ、お声掛け願います。弊社営業マンから丁寧にご説明させていただきます。